

安心バンク、JAバンク。

JA HOKUSAI DISCLOSURE

2022.9 上半期ディスクロージャー誌

令和4年4月1日～令和4年9月30日



 ほくさい農業協同組合

1. 組合員と地域の皆さまとともに!!



J Aほくさいは地域社会の一員として、地域の皆さまとともに歩んで行きます。

J Aほくさいは、行田市、鴻巣市の一部（屈巣、広田、北根、赤城、赤城台、関新田、新井、境、上会下）、羽生市、加須市を区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

J Aほくさいでは、皆さまからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉として、資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

J Aほくさいは、組合員の皆さまへの奉仕はもとより、地域の皆さまに様々な事業機能やサービスを提供することにより、農業や地域経済社会の健全な発展に寄与することで社会的・公共的使命を果たしてまいります。

また、J Aほくさいは、地域社会の一員としての責任を自覚し、地域の各種行事や催事等への参画やJ Aの社会・文化的活動をとおして、少しでも地域社会の発展や活性化のお役に立ちたいと思っています。

今後とも協同組合運動の理念である「一人は万人のために、万人は一人のために」を念頭におき、より良き地域社会人として、組合員の皆さまをはじめ地域社会の皆さまと一緒に歩んで行きたいと思っています。

トピックス



浦和レッズに「彩のきずな」1トンを納品

J Aグループさいたまは、前回の天皇杯で優勝したことを祝し、浦和レッズに「彩のきずな」1トンを贈呈しました。

当JAはJAグループさいたまからの依頼で、6月24日、9月6日の2回に分け、浦和レッズに「彩のきずな」1トンを納品しました。記念に、浦和レッズパートナーホームタウン本部の白戸秀和本部長から、JAへ浦和レッズの伊藤敦樹選手と関根貴大選手のサイン入りユニホームが贈られました。



J A出資型法人 (株)ほくさいグリーンアグリが始動

(株)ほくさいグリーンアグリは9月15日に、羽生市喜右門新田のほ場で、作業委託された「彩のきずな」の稲刈りを行いました。

同社藤村和彦統括マネージャーは、メーカー指導のもと、コンバインでほ場の外周を刈り取るとすぐにコツを掴み、スムーズに刈り取り作業を行っていました。同社柿沼利明アドバイザーは、「収穫量は標準。適期に刈り取りができた。4時間で33アールの刈り取りはますます」と手応えを感じていました。



第一回ほくさいカップに協賛

9月17日、行田市総合体育館グリーンアリーナにて行田バスケットボール連盟（村田実会長）が主催する、第一回ほくさいカップが開催されました。

当JAは、JA共済連埼玉県本部の地域・農業活性化積立金を活用し、地域の子育て支援が目的同大会に協賛しました。参加賞として全チームに「彩のきずな」とスポーツドリンクを贈る他、優勝チームにトロフィー4本、2位～4位に盾6枚、各チーム優秀選手にメダル18個を寄贈しました。

2. JA自己改革の取り組み状況について



JAほくさいの目指す姿

- 安全で安心な国産農畜産物を持続的・安定的に供給できる地域農業を支え、農業者の所得増大を支えます。
- 総合事業を通じて地域の生活インフラ機能の一翼を担い、豊かで暮らしやすい地域社会の実現に貢献します。
- 「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」として存立します。

JAほくさい自己改革工程表

JAほくさいは、平成28年度より、組合員との徹底した対話に基づいて、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする創造的自己改革の実践に全力で取り組んできました。

これまでに自己改革として、直接販売・契約取引の強化に取り組んだほか、精米プラントによる販売強化、地域農業の振興に向けたJA青年部の設立などの取り組みをすすめてきました。

この結果、令和元年度に実施した「JAの自己改革に関する組合員調査」等において、多くの正組合員から、一定の評価と自己改革への一層の期待、多くの准組合員から、総合事業の必要性や地域農業を応援したいとの声をいただきました。

今後とも、JAほくさいは、地域になくてはならないJAであり続けるため、自己改革の実践を支える持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、組合員との徹底した対話を通じ、総合事業を基本として「不断の自己改革」に取り組んでまいります。

自己改革を実践するための具体的な方針

- 1 訪問活動や座談会を通じた「担い手との対話」を原点としてニーズを的確に把握します。
- 2 「農業者の売上増加・コスト低減」につながる担い手目線で必要な取り組みについて、目標及び実践具体策の策定等とあわせて実践し、改革の目的である「所得増大」を実現するほか、「地域の活性化」にも取り組みます。
 - ・担い手経営体や中核的担い手などを対象として、次のことについて取り組みます。
 - ア. 米穀フレコン出荷の拡大、イ. 高収益作物（野菜）の導入、ウ. 麦等の畑作物の拡大
 - エ. 大型規格農薬の取扱拡大
 - ・中核的担い手（施設園芸農業者）などを対象として、次のことについて取り組みます。
 - ア. 主力品目野菜の集荷体制の見直し
 - ・「地域の活性化」に向けては、次のことについて取り組みます。
 - ア. 農業振興の応援団の拡大、イ. 支店協同活動の充実、ウ. 高齢者生活支援活動の実施
 - また、これらの取り組みあたり必要な農業資金の供給にも取り組みます。
- 3 改革の取り組みと成果について対話等を通じて評価を把握し、次の改革につなげることで、PDCAサイクルを回し、不断の自己改革を着実に実践します。

自己改革の実践に向けた組合員の意思反映

自己改革の実践にあたっては、改革の評価の把握に向けた正組合員との対話会のみならず、地域に根ざしたJAを目指して直売所利用者モニターや広報モニターを通じて「正組合員とともに、地域農業や地域経済の発展を支える組合員」である准組合員の声も聴くことで、正組合員と准組合員が一体となったJA運営を実現します。組合員の評価を踏まえながら必要な見直しを行います。

また、農業振興の応援団でもある准組合員の事業利用にあたっては、正・准組合員の利用状況を把握したうえで、改革の目的である「農業者の所得増大」につながるよう取り組みます。

自己改革を支える経営基盤の確立・強化の取り組みについて

管内の人口動向は減少傾向にあり、少子高齢化が進展しております。農業経営体は5年前と比較すると全体として2割程度減少していますが、法人経営は1割増加しています。また、農業生産額は上昇傾向に推移していますが、JAほくさいの販売品販売高は、58億円前後で推移している状況です。

こうした情勢のなか、JAほくさいとして現状のまま事業改革を進めなかった場合の5年後の成行きについてシミュレーションを行ったところ、5年後には20年前の広域合併以来初めて事業利益が赤字に転じる見通しとなりました。赤字の主な要因は営農・経済事業にあり、営農・経済事業の赤字額が信用共済事業の黒字額を上回る収支構造となっております。加えて、指導事業を除く経済事業全体の赤字額の約8割を生産購買事業、生活購買事業、販売事業の3事業が占めている状況にあります。

販売力の強化を通じた事業伸長や効率的な施設運営を通じた費用削減により、健全で持続性のある経営を確保することが緊急の課題となっています。



J A ほくさい自己改革工程表（数値編）

重点目標

成果指標・目標値

農業者の所得増大・農業生産の拡大

米穀フレコン出荷の拡大を通じた生産拡大

対象者：担い手経営体や中核的担い手など	想定	コスト低減効果
令和4年度	449,400袋	1袋あたり 5,000円

※重点施策：直接販売等の強化による農業者の所得増大

令和4年度【第2四半期 取組状況】

449,400袋集荷に向けて集荷中
JA直売所や精米プラントでの販売の実施

主力品目野菜の集荷体制の見直しを通じた売上増加

対象者：中核的担い手(施設園芸農業者)など	想定	売上増加効果
令和4年度	5,000 t	1kgあたり 300~400円

※重点施策：直接販売等の強化による農業者の所得増大

令和4年度【第2四半期 取組状況】

きゅうり	1,505 t	平均単価	267円
なす	156 t	平均単価	335円
トマト	976 t	平均単価	285円

大型規格農薬の取扱拡大を通じたコスト低減

対象者：担い手経営体や中核的担い手など	想定	コスト低減効果
令和4年度	330ha	10aあたり 300~500円

※重点施策：直接販売等の強化による農業者の所得増大

令和4年度【第2四半期 取組状況】

推進品目選定を行い、11月の推進に向けて準備中

地域の活性化

農業振興の応援団の拡大（SNSフォロワー数の増加）

令和4年度 200人

令和4年度【第2四半期 取組状況】

Facebook	フォロワー数	148人
LINE	フォロワー数	945人

経営基盤の確立・強化

支店等再編による効率的な事業運営体制の確立

令和4年度 26支店・1営農経済センター

令和4年度【第2四半期 取組状況】

令和5年の支店再編に向け、建設改修工事並びに業務の運営体制について、引き続き協議・検討を進める。

対話・意思反映

項目	令和4年度計画	令和4年度【第2四半期 取組状況】
組合員との対話会（回数）	7地区にて開催（7回）	12月に各地区において「組合員との対話会」を検討中。
イベントを通じた組合員アンケートの実施（人数）	150人	スポーツイベント（600人） 収穫イベント（10人）



J A ほくさい 中期計画アクションプラン 進捗状況報告書【令和4年度第2四半期】

基本目標	主な成果指標	重点施策	アクションプラン（主な取組）	取組状況
			令和4年度	
持続可能な食料・農業基盤の確立	出資型法人を設立し、農業経営（米13ha、麦7ha）	J A出資型法人による農作業等受託と農業経営の実施	<ul style="list-style-type: none">J A出資型法人の設立（9月）モデル地区にて受託作業と農業経営の実施（麦5ha）	<ul style="list-style-type: none">9月1日にJ A出資型法人「(株)ほくさいグリーンアグリ」設立小麦作付け予定面積（8.3ha）作業受託（稲刈り：7.6ha）
	担い手経営体全戸訪問と、総合事業提案、農業支援の実施	担い手経営体との信頼性構築	<ul style="list-style-type: none">TACによる担い手経営体への全戸訪問総合事業提案と農業経営支援の強化実践	<ul style="list-style-type: none">9月末実績 479件 900回の訪問活動実施県域応援企画の取扱い件数 10件農業融資紹介 1件
	米穀を独自の販売30%を行い、精算金の追加を行う。米穀の作付け前（目標85ha）に買取価格を提示し契約販売の実施。	直接販売等の強化による農業者の所得増大	<ul style="list-style-type: none">J A直販米比率 20%契約栽培面積 77ha	<ul style="list-style-type: none">J A直販米比率 20%に向けて集荷中契約栽培面積 多収米 62ha 〃 野菜、 1,424a
	准組合員との交流の場として、各種イベント等を開催し、アクティブメンバーシップを目指し、販売品の取扱い令和3年度比7%増を目指す。	農産物直売所の生産販売の拡大	<ul style="list-style-type: none">販売品取扱増加（令和3年度比3%増）	<ul style="list-style-type: none">販売品取扱高前年比93.0%と減少9月3日～11日新米祭り開催（全店舗）
	担い手経営体へトータルコスト低減の取組みを提案し、担い手直送（大型）規格農業等の利用を促し取扱い面積400haを目指す。	大型規格農業の取り扱い拡大	<ul style="list-style-type: none">担い手経営体へコスト低減の提案取扱面積（330ha）	<ul style="list-style-type: none">推進品目選定を行い、11月の推進に向けて準備中
	ほくさい管内の7地区において、組合員との対話会を年1回以上開催	「組合員との対話運動」の継続・強化	<ul style="list-style-type: none">7基幹支店において組合員との対話会を実施各種イベントを通じた組合員アンケートの実施・活用	<ul style="list-style-type: none">12月に各地において「組合員との対話会」を検討中。組合に対する意見・要望等を把握し、今後の組合運営に活かしてまいります。収穫体験、スポーツイベントでアンケート実施。
持続可能な地域・組織・事業基盤の確立	J A女性部未組織支店（2支店）へ設置を促す。 J A女性部、青年部とJ A役職員との対話活動 1回/年実施。	女性・青年の活躍推進	<ul style="list-style-type: none">J A女性部・青年部員の加入促進J A女性部未組織地区の調査・設立準備J A役職員とJ A女性組織・青年組織の対話活動の実施	<ul style="list-style-type: none">8月総会時に、部員からの呼びかけを依頼J A女性部設置に向けて調整中年内の実施に向け調整中
	正組合員 30%以上 総代 15%以上 理事 15%以上	女性のJ A運営参画目標	正組合員 25%以上 総代 10%以上 理事 10%以上	<ul style="list-style-type: none">正組合員の女性割合の増加に向け、取り組みを検討してまいります。
	・多様な生産組織等と連携し、子ども食堂やフードバンクへ食材の提供を1回/年以上行う。	地域の将来を担う子どもたちの健全な育成と地域の多様な組織との連携強化	<ul style="list-style-type: none">子ども食堂、フードバンクへの食材提供の実践	<ul style="list-style-type: none">行田、羽生、加須の3団体を通じ、玉葱、露地茄子、トウモロコシ、梨を寄贈（7月～9月/7回）



基本目標	主な成果指標	重 点 施 策	アクションプラン（主な取組）	取 組 状 況
			令和4年度	
「食」「農」「地域」「JA」にかかる地域住民理解の醸成	農業振興の応援団として、SNSフォロワー数 400人	広報機能を強化し、JA情報の発信	<ul style="list-style-type: none">・ホームページの更新頻度の増加・SNS (Facebook/LINE)による情報発信	<ul style="list-style-type: none">・ホームページ更新回数 34回・Facebook投稿回数 49回 (フォロワー数 148人)・LINE投稿回数 19回 (フォロワー数 945人)
	准組合員とのメンバーシップ強化のため、伝承料理教室、稲作体験教室、収穫体験バスツアーの開催を 1回/年開催する。	准組合員の「農」に基づくメンバーシップの強化	<ul style="list-style-type: none">・伝承料理教室の開催・稲作体験教室の開催 1回 (大利根地区)・収穫体験ツアーの開催	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍につき、今年度は中止・田植え体験開催 (5/7)・ドライブラー(トウモロコシ/ブルーベリー収穫体験)を実施 (7/16)
	次世代対策として、野球大会、ミニバス大会、その他スポーツ大会(1大会)を支援します。	地域で子供のスポーツイベントの支援	<ul style="list-style-type: none">・北埼玉地区野球大会及びミニバス大会への支援及びPRの実施・小学生スポーツ大会支援に向けた調査	<ul style="list-style-type: none">・北埼玉地区野球大会への支援 (7/30)・ミニバス大会への支援 (9/17)・10月のサッカー大会支援に向け準備中
不斷の自己改革の実践を支える経営基盤の強化	支店・農機センターの統合により、固定費の削減 (R3年度対比 1.3%減) 遊休資産の売却を基本とし、固定資産税等の削減 (固定資産税 R3年度対比 3%減)	支店の統合 29支店→8支店・7 営農経済センター	<ul style="list-style-type: none">・大利根地区的支店再編 4支店→1支店 1 営農経済センター	<ul style="list-style-type: none">・令和5年の支店再編に向け、建設・改修工事及び業務の運営体制について、引き続き協議・検討を進めてまいります。
		農機センターの統合 7農機センター → 1農機センター	<ul style="list-style-type: none">・運営体制の検討 ※地域の状況を勘案し、出張所の設置を検討	<ul style="list-style-type: none">・令和6年度の統合に向け、新たな施設の建設及び運営体制の構築を検討してまいります。
		農業倉庫の再編	<ul style="list-style-type: none">・再編に向けての調査	<ul style="list-style-type: none">・倉庫建物の状況や使用状況を改めて確認し、効率化が図れるよう進めてまいります。
		遊休資産の流動化	<ul style="list-style-type: none">・遊休資産の流動化の実施	<ul style="list-style-type: none">・売却を計画した遊休資産並びに購入希望のあった遊休資産について、売却の準備を進めてまいります。(持田駅倉庫跡地(行田)・下崎倉庫跡地(騎西))
	役員の定数を減らすことにより機動的な経営上の意思決定を行い、また新たな支店運営協力委員会を設置することにより組合員からの様々な意見を集約し、組合の事業運営に反映させる	役員定数の変更	<ul style="list-style-type: none">・総代会附議	<ul style="list-style-type: none">・役員選任手続きに基づき、スムーズな手続きがとれるよう進めてまいります。
		新たな支店運営協力委員会の設置	<ul style="list-style-type: none">・円滑な支店運営を図るため、委員会の運営についての準備	<ul style="list-style-type: none">・新たな支店運営協力委員会の在り方について、協議・検討してまいります。

3. 安心のバロメーター



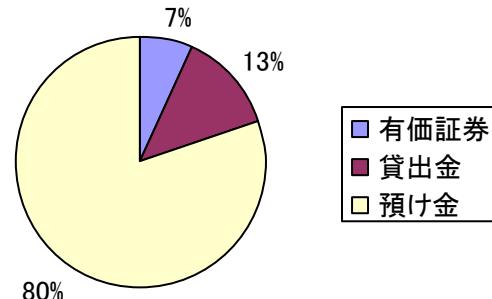
安心（その1）

J A ほくさいは、組合員の皆さまや地域の皆さまより信頼をいただき、お預かりしている貯金は 2,917 億円になりました。この大切な財産を、安全性と流動性を重視して資金運用しています。

(単位：百万円)

R4年9月期の JA ほくさいの運用資産構成

	R3年9月期	R4年3月期	R4年9月期
貯 金	298,428	291,820	291,737
貸 出 金	34,468	35,618	37,267
預 け 金	248,822	239,542	234,986
有価証券	16,541	17,429	20,228



1 売買目的有価証券

当JAは、令和4年3月期及び令和4年9月期における売買目的有価証券の残高はありません。

2 満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位：百万円)

	R4年3月期			R4年9月期		
	貸借対照表 計上額	時価	差額	貸借対照表 計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるものの	6,099	6,160	61	5,599	5,639	39
時価が貸借対照表計上額を超えないものの	5,009	4,805	△203	6,214	5,745	△468
合 計	11,108	10,966	△142	11,814	11,385	△428

注1：時価は、9月末、期末における市場価格等に基づいております。

3 その他有価証券

(単位：百万円)

	R4年3月期			R4年9月期		
	取得原価または 償却原価	貸借対照表 計上額	差額	取得原価または 償却原価	貸借対照表 計上額	差額
貸借対照表計上額が取得原価または償却原価を超えるもの	1,002	1,013	11	999	1,002	2
貸借対照表計上額が取得原価または償却原価を超えないもの	5,490	5,306	△183	7,864	7,411	△453
合 計	6,493	6,320	△172	8,864	8,413	△451

注1：貸借対照表計上額は、9月末、期末における市場価格等に基づいております。

4 金銭の信託

当JAは、運用目的・満期保有目的・その他の金銭の信託にかかる契約はありません。

安心（その2）

金融機関の経営健全性を示すバロメーター

…自己資本比率も充分です。

J Aほくさいは、国内基準(4%)の4倍以上で、国際基準(8%)を上回る19.27%の自己資本比率と、48億円の内部留保(特別積立金)で、安定した経営を維持しています。

(単位：百万円、%)

R4年9月期の自己資本の状況

自己資本の額

21,827
百万円

自己資本比率

19.27
%

	R4年3月期	R4年9月期
自己資本の額	22,063	21,827
自己資本比率	19.50%	19.27%
余 裕 額	13,012	12,766

R4年9月期の計数は、仮決算結果に基づき、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」(H18.3.28金融庁・農林水産省告示第2号)に準拠して算出していますが、半期利益については、前年度実績の2分の1の外部流出予定額を控除して自己資本の額とし、オペレーションリスク相当額はR4年3月期の計数を用いて算出しています。

余裕額は自己資本額の内、国際基準(8%)を上回る部分の金額となります。

安心（その3）

不良債権に対する備えも充分です。

J Aほくさいは、経営の透明性を高め、その健全性と安全性をご理解いただくために、金融再生法に基づく開示債権の状況を開示するとともに、不良債権に対する保全状況を開示いたします。

(単位：百万円、%)

債 権 区 分 と 保 全 状 況		R4年3月期	R4年9月期
破産更正債権及びこれらに準ずる債権		25	22
危険債権		114	103
要管理債権		—	—
小 計(A)		139	125
保全状況	上記債権の担保・保証の額(B)	92	83
	上記債権に対する貸倒引当金の額(C)	20	14
	上記債権に対する保全率(B+C)/(A)	80.7%	78.6%
正 常 債 権		36,495	37,753
合 計		36,635	37,879

注) R4年9月期の計数は、9月末の仮決算において3月期決算と同一に当JAの資産査定要領により実施した自己査定結果、並びに資産の償却・引当基準に基づき計上したものです。なお、貸借対照表に計上している貸出金とは対象となる範囲が異なるため、残高が一致しない場合があります。

【用語の説明】

- 破産更正債権及びこれらに準ずる債権……破産・会社更生・民事再生等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 危険債権……債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 要管理債権……(1)3ヶ月以上延滞債権=元金または利息の支払が、約定支払日の翌日を起算日として3ヶ月以上延滞している貸出金のうち、破産更正債権及び危険債権を除いた貸出債権です。
(2)貸出条件緩和債権=経済的困難に陥った債務者又は支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権のうち、破産更正債権等、危険債権及び3ヶ月以上延滞債権を除いた貸出債権です。

J Aほくさいは、組合員の皆さんや地域のお客さまの着実な資産づくりのお手伝いをさせて頂いています。

組合員の皆さま・地域のお客さま

うち組合員数：24,041人

※JAにおける「組合員」とは？
地区内にお住まいや勤務の方は組合員になる資格があります。また、組合員以外のお客さまへも一定の範囲内でJAのサービスをご利用頂けますので、お気軽にお声掛けください。

地域からの資金調達の状況

当JAでは、お客さまのニーズにお応えするため、SDGs定期貯金や、子育てをしている方を対象とした優遇定期貯金など、特徴ある商品をご用意していますが、今後も新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力してまいります。

貯金・積金残高

291,737百万円

出資金	3,116 百万円
貯金・積金	291,737 百万円

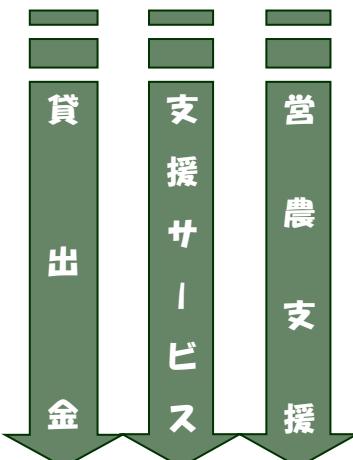
文化的・社会的貢献に関する事項 (地域との繋がり)

- (1)「地域との共生」を基本理念に小さな活動からを合言葉に、福祉、スポーツや地域活動等の活動を通じて文化的・社会的貢献活動を展開しています。
- (2)利用者ネットワークとして、各種友の会や部会を設置し、さまざまな活動を展開しています。
- (3)ほくさいだより等の広報誌やホームページを通じて情報提供やご意見を承っていますのでご利用ください。

<https://jahokusai.jp>

J A ほくさい

常勤役職員	374名
本店	1
支店	26
A T M設置台数	28
事業所	19



地域への資金供給の状況 (貸出金に関する事項)

お客さまからお預かりした大切な貯金・積金を、資金を必要とされている組合員、地域にお住まいの方や事業者の方々へ資金を適正に供給し、農業や地域経済の活性化に寄与しています。

貸出金残高

37,267百万円

組合員	31,921 百万円
地公体等	5,103 百万円
その他	243 百万円

*制度融資の実績

農業近代化資金 246 百万円

*農業支援融資商品

営農ローン

J A農機ハウスローン etc.

*個人向けローン、事業者向け融資についても各種ご用意しています。

貸出金以外の運用に関する事項

安全性と流動性を重視した安定収益のため、JA県信連預金や国債等の有価証券で運用しています。

JA県信連等預金残高	234,986 百万円
有価証券残高	20,228 百万円

組合員の皆さま・地域のお客さま

※計数は、令和4年9月末現在です。なお、記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

※職員数は、パート、アルバイト及び被出向の職員を除き、出向者、休職者及び常勤嘱託を含めた人数を記載しています。

※記載内容、商品についてご質問がございましたら、お気軽にお声掛けください。

J A バンク・セーフティーネット



J A バンクは、「破綻未然防止システム」と「貯金保険制度」により「J A バンク・セーフティーネット」を構築し、組合員・利用者の皆さんに、より一層の「安心」をお届けしています。

破綻未然防止 シス テ ム

破綻未然防止のための
J A バンク独自の制度

貯金保険制度

貯金者の保護のための
公的な制度

J A ほくさい 身近で便利 J A の店舗

店舗名	電話番号
本 店	048-561-6911
行 田 中 央 支 店	048-556-1171
行 田 西 支 店	048-556-2573
太 田 支 店	048-559-3511
行 田 北 支 店	048-557-1022
行 田 中 部 支 店	048-556-2235
行 田 南 支 店	048-559-2241
南 河 原 支 店	048-557-0823
川 里 中 央 支 店	048-569-1321
羽 生 中 央 支 店	048-561-1009
羽 生 北 支 店	048-565-1201
手 子 林 支 店	048-563-1554
須 影 支 店	048-561-0018
羽 生 東 支 店	048-565-1200

店舗名	電話番号
新 郷 支 店	048-561-0070
加 須 中 央 支 店	0480-61-0905
加 須 西 支 店	0480-61-0269
加 須 北 支 店	0480-68-5654
大 桑 支 店	0480-65-0651
水 深 支 店	0480-65-2003
埼 玉 志 多 見 支 店	0480-61-2318
騎 西 中 央 支 店	0480-73-1121
田 ケ 谷 支 店	0480-73-0298
種 足 支 店	0480-73-0064
鴻 茎 支 店	0480-73-0029
北 川 辺 支 店	0280-62-2211
大 利 根 中 央 支 店	0480-72-3111



組合員・利用者の皆さんに、より一層の「便利」と
「安心」をお届けするための農協金融システムが「JA
バンクシステム」です。

このシステムに一体的に取組むJAバンク(JA・信
連・農林中金)の金融店舗には、「JAバンク会員マー
ク」が掲示されております。

JAほくさい Farmer's Market



地地
消産

羽生
農産物直売所



〒348-0052
羽生市東7-15-3
TEL.048-563-4609

北川辺
農産物直売所



〒349-1205
加須市向古河281-2
TEL.0280-62-3636



行田
農産物直売所



〒361-0021
行田市富士見町1-8-1
TEL.048-556-2203

騎西
農産物直売所



〒347-0105
加須市騎西425
TEL.0480-73-6776

加須
農産物直売所



〒347-0018
加須市浜町4-37
TEL.0480-61-3044

JAほくさいの
“リアルタイム”を
お届けします。

直売所、地域の農業風景、
各種キャンペーン、イベント情報など

Facebook



友だち
募集中

各種キャンペーン、地域の農業風景、
直売所、イベント情報などをお届けします。
@jahokusai



2022 上半期 DISCLOSURE 令和4年11月製作

JAほくさい(ほくさい農業協同組合)企画管理部

〒348-8513 羽生市東7丁目15番地3

Tel.048-561-6911(代表)

Fax.048-561-4530

【ホームページ】<https://jahokusai.jp>



